

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年3月25日
研究・研修課題名	専門・認定作業療法士取得のための研修補助
研究・研修組織名(所属)	リハビリテーション部
研究・研修責任者名(所属)	森脇繁登(リハビリテーション部 作業療法士)
研究・研修実施者名(所属)	佐藤千晃、伊藤路子、後藤雪絵、吉田朝海、大西友香、奥野智寛

成果区分	<input checked="" type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	森脇繁登、佐藤千晃、伊藤路子、後藤雪絵、吉田朝海、大西友香、奥野智寛
学会名(会期・場所)、認定名等	① 第53回日本作業療法学会(2019.9.6-8,福岡) ② 認定作業療法士取得研修(選択)(2019.10.11-12,広島) ③ 第43回日本死の臨床研究会年次大会(2019.11.3-4,神戸) ④ 認定作業療法士取得研修(共通)(2019.11.23-24,大阪) ⑤ 第15回日本シーティングシンポジウム(2019.11.23-24,東京) ⑥ 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会(2019.11.28-30,仙台) ⑦ 第7回認知症予防専門士認定試験(2020.1.19,東京)
演題名・認証交付元等	① 第53回日本作業療法学会 演題名:視線入力を用いたコミュニケーション機器の円滑な導入方法の検証 ② 認定作業療法士取得研修(選択)修了証 交付元:一般社団法人日本作業療法士協会 ④ 認定作業療法士取得研修(共通)修了証 交付元:一般社団法人日本作業療法士協会 ⑤ 第15回日本シーティング・シンポジウム 演題名:座位姿勢における骨盤アライメントに影響を与える因子の検討 ⑥ 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会 演題名:読み書き障害を呈した失語症患者における五十音順でのかな文字学習の効果 ⑦ 第7回認知症予防専門士認定試験 交付元:一般社団法人 日本認知症予防学会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

日本作業療法士協会は、臨床現場での実践の質の向上を目的とした「認定作業療法士」および「専門作業療法士」の資格取得を推奨している。本資格取得には、定められた研修の履修や必要な単位等を取得する必要がある。当院のような急性期病院では、作業療法を実施する上で、前述した資格を取得し、急性期において活かしていくことは、実践の質の向上のために不可欠なものである。

本研修費の最終的な目標は「専門作業療法士」の取得を目指すことであるが、協会の規定から、まずは「認定作業療法士」を取得することが必要である。当院はすでに作業療法士1名が「認定作業療法士」の取得に至っている。そこで本研修費は、認定取得者は専門作業療法士の取得を、そして認定未取得者は認定作業療法士取得に向けて、定められた研修の履修および必要ポイントの取得を目的とする。

② 方法

附属病院リハビリテーション部所属の作業療法士が所定の講習会および学会に参加し、必要なポイントを取得する。以下に認定作業療法士、専門作業療法士の概略を示す。

-認定作業療法士の取得要件-

- 共通研修（必須）：「教育法」「研究法」「管理運営」
- 選択研修：「身体障害領域」「精神障害領域」「発達障害領域」「老年期障害領域」
(2 講座以上の受講が必須)
- ポイント数：基礎ポイント 50 ポイントを取得
- 症例報告：事例報告登録制度に 3 事例の登録

-専門作業療法士取得要件-

- 認定作業療法士の取得
- 研修実践 20 単位
- 臨床実践 20 単位
- 研究実践 10 単位
- 教育と社会貢献の実践 10 単位

③ 成果

- ① 第53回日本作業療法学会 (2019. 9. 6-8, 福岡)
【森脇繁登、奥野智寛】森脇6ポイント取得、奥野4ポイント取得
- ② 認定作業療法士取得研修 (選択) (2019. 10. 11-12, 広島)
【伊藤路子】4ポイント取得、選択研修の修了
- ③ 第43回日本死の臨床研究会年次大会 (2019. 11. 3-4, 神戸)
【後藤雪絵】4ポイント取得
- ④ 認定作業療法士取得研修 (共通) (2019. 11. 23-24, 大阪)
【伊藤路子】4ポイント取得、共通研修の修了
- ⑤ 第15回日本シーティング・シンポジウム (2019. 11. 23-24, 東京)
【佐藤千晃】2ポイント取得
- ⑥ 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会 (2019. 11. 28-30, 仙台)
【大西友香】3ポイント取得
- ⑦ 第7回認知症予防専門士認定試験 (2020. 1. 19, 東京)
【吉田朝海】資格取得

それぞれの詳細について以下に報告する。

① 第53回日本作業療法学会 (2019. 9. 6-8福岡)

2019年9月6-8日に開催された第53回日本作業療法学会に参加した。様々な分野の最新の知見を知り学ぶことができた。特に基調講演は、医療職以外の方からの話もあり異なった視点での技術支援の重要性を感じた。また、「視線入力を用いたコミュニケーション機器の円滑な導入方法の検証」として口述発表を行った(資料①)。援助機器開発におけるセッションであったため、様々な機器を開発経験者から多くの助言を頂き、今後の発展につながる質疑を行うことができた。本学会への参加および発表によって、認定および専門作業療法士の資格取得に必要な生涯教育基礎ポイントを合計10ポイント取得した。

② 認定作業療法士取得研修（選択）（2019. 10. 11-12 広島）

2019年10月12日～13日に広島県の広島大学で開催された認定作業療法士取得研修（選択研修）身体障害の作業療法に参加した。急性期から在宅までの対象者への作業療法を考えるをテーマに講義や事例検討が行われた。講義では、各病期・領域における作業療法評価、介入、効果判定の一連の流れが実践できる臨床能力を習得できた。また、必要な制度について学んだ。事例検討では、受講生の事例において困った点や迷った点等についてグループワークを通じ受講生が主体的に検討し、発表を行った。試験に合格し修了書を取得した。（資料②）。認定作業療法士取得のための生涯教育基礎ポイントを4ポイント取得した。

③ 第43回日本死の臨床研究会年次大会（2019. 11. 3-4 神戸）

第43回日本死の臨床研究会年次大会では、「生と死をめぐる葛藤を支える」をテーマとし、病に向き合う患者・家族の生と死の葛藤を支えるさまざまな経験と理論的考え方、スピリチュアルペインのアセスメント及びスピリチュアルケアのあり方、死生観の多様性、グリーフケアの展開など、緩和医療・緩和ケアにおける多岐にわたる知識や理論、考え方を学ぶことができた。がんサバイバーが増加する近年、がんのリハビリテーション患者数は増加しており、対象も予防的介入から緩和的介入まで多岐に渡る現状の中で、がんの治療や生活支援など「生」の側面へ焦点を当てる介入はもとより、いずれ訪れる「死」の側面においても、個々の多様な苦悩・死生観を可能な限り理解し、個別性のあるケア・支援の提供について考え、実践していかなくてはならない。がん患者を支援する医療従事者として、臨床に活かせる多角的な支援を学ぶことができ、有意義な機会となった。認定作業療法士取得のための生涯教育基礎ポイントを4ポイント取得した。

④ 認定作業療法士取得研修（共通）（2019. 11. 23-24 大阪）

2019年11月23-24日に大阪市東淀川区の新大阪丸ビル新館で開催された認定作業療法士取得研修（共通研修）管理運営に参加した。作業療法部門の管理運営と職場を取り巻く社会的状況、作業療法士協会の活動を理解することを目的としており、職場評価の方法を学び、改善に向けての方策をグループワークで検討した。試験に合格し修了書を取得した（資料③）。認定作業療法士取得のための生涯教育基礎ポイントを4ポイント取得した。

⑤ 第15回日本シーティング・シンポジウム（2019. 11. 23-24 東京）

2019年11月23-24日に首都大学東京荒川キャンパスにて第15回日本シーティング・シンポジウムに参加した。23日には一般演題（口述）として「座位姿勢における骨盤アライメントに影響を与える因子の検討～おむつの装着方法での変化～」の発表を行なった（資料④）。本シンポジウムでは、シーティングに関わる給付制度を中心に講演・企画が催され、作業療法士として今後の補装具給付の新たな知見を得た。また、日本作業療法士協会が定める「認定作業療法士」取得に向けた生涯教育基礎ポイントを2ポイント取得した。

⑥ 第43回日本高次脳機能障害学会学術総会（2019. 11. 28-30 仙台）

2019年11月28-29日に開催された日本高次脳機能障害学会学術総会、翌30日に開催された同学会のサテライト・セミナーに参加し、高次脳機能障害患者への効果的な介入方法について最新の知見を得た。また、演題発表「読み書き障害を呈した失語症患者における五十音順でのかな文字学習の効果」を行った（資料⑤）。この学術総会に参加および発表をしたことで、認定作業療法士取得のための生涯教育基礎ポイントを3ポイント取得した。

⑦ 第7回認知症予防専門士認定試験（2020. 1. 19 東京）

2020年1月19日に、エッサム神田ホール2号館にて開催された認知症予防専門士認定試験を受験した。今後、専門作業療法士（認知症）を取得するにあたって、より専門的な知識や技術力を身につけるために、今回の受験に至った。審査の結果、合格したため認知症予防専門士として認定資格を得ることができた（資料⑥）。

また、令和2年3月7-8日に開催される専門作業療法士基礎研修に参加する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、研修会が中止となったため不参加となった。